

レアメタル資源再生技術研究会

都市鉱山からの発掘

来月5日

【名古屋】レアメタル資源再生技術研究会(伊藤秀章会長)は、3月5日に名古屋市熱田区の名古屋市工業研究所で第7回研究会を開催する。テーマは「都市鉱山からのレアメタル発掘と資源循環システム―きめ細かいレアメタルリサイクルの事業化を目指して」。

講演会では三進製作所営業本部の松波茂彦副本部長が「表面処理におけるレアメタル回収技術」、中部貴金属精錬の園山七雄社長が「貴金属含有スクラップからのレアメタル分離精製技術」、木村メタル産業の竹内康孝営業部長が「小型家電からの貴金属、レアメタルの回収技術システム」、JX日鉱日石金属環境リサイクル事業本部技術部の宮林良次部長が「JX日鉱日石金属の銅、貴金属等のリサイクル」、三井金属資源事業本部の野田眞治

技術部長が「三井金属グループの精錬技術とレアメタルリサイクル」、シーエムシー技術開発の河邊憲次社長が「レアメタルリサイクル事業の技術的・経済的問題点」、東京大学生産技術研究所の岡部徹教授が「レアメタルの資源供給制約とリサイクル」について講演する。

また、前日の4日には岐阜県各務原市の岐阜県テクノプラザで合同オープン合同分科会・見学会を開催する。テーマは「本音で語るレアメタル(レアアイ)問題」とし、物質・材料研究機構の原田幸明特命研究員らをパネリストに招き、パネルディスカッションを行う。

また、ネオジム磁石のリサイクル技術の最新情報について識者から報告が行われるほか、実際にネオジム磁石のリサイクルプラントがある大脇商店の見学を行う。参加申し込みは同会本部事務局まで。